



平成27年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第68回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

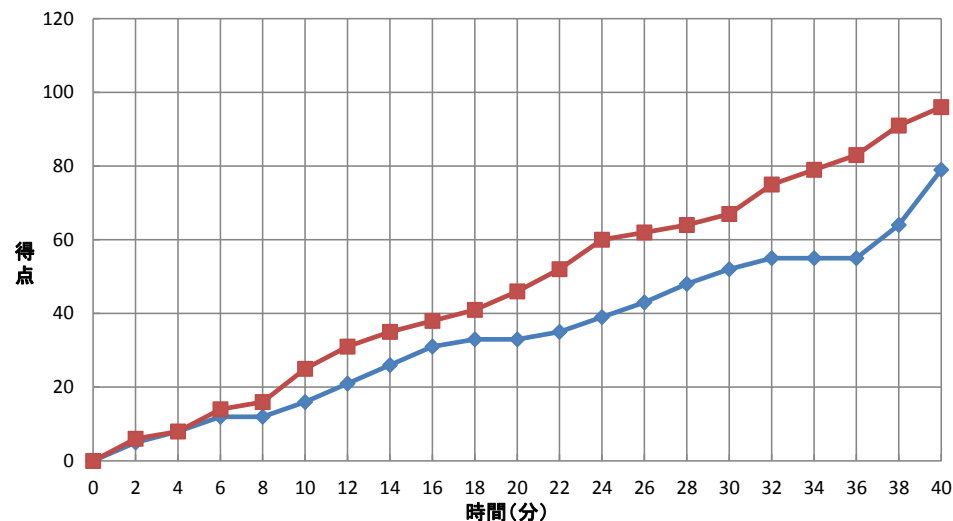
男子	平成27年7月29日	12:50 開始
1回戦	ハンナリーズアリーナ	A

北海道札幌工業	79	<table border="1"> <tr><td>16</td><td>1st</td><td>25</td></tr> <tr><td>17</td><td>2nd</td><td>21</td></tr> <tr><td>19</td><td>3rd</td><td>21</td></tr> <tr><td>27</td><td>4th</td><td>29</td></tr> </table>	16	1st	25	17	2nd	21	19	3rd	21	27	4th	29	96	◎ 飛龍	(静岡県)
16	1st	25															
17	2nd	21															
19	3rd	21															
27	4th	29															
(北海道)																	

番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
* 4	鈴木 祐太郎	20	2	6	2	3	* 4	小宮 光紀	2	0	1	0	1
* 5	濱尾 宗総	36	6	7	4	3	* 5	安部 紘貴	23	0	9	5	2
* 6	菅原 颯	7	1	2	0	5	6	島袋 龍	3	0	0	3	0
* 7	大宮 崇博	2	0	1	0	5	7	金井 星也	1	0	0	1	0
8	堂菌 大揮	2	0	1	0	5	8	松下 裕汰	2	0	1	0	2
9	永倉 涼平	0	0	0	0	0	9	見館 空叶	9	2	1	1	3
10	柳橋 智也	0	0	0	0	3	* 10	廣岡 耕平	18	4	2	2	1
* 11	須貝 則仁	12	2	3	0	3	11	笠継 玲依	0	0	0	0	0
12	佐藤 圭梧	0	0	0	0	0	12	杉本 諒	3	0	1	1	0
13	尾崎 友祐	-	-	-	-	-	13	山本 留佳	5	0	2	1	0
14	天野 駿	-	-	-	-	-	* 14	関屋 風画	10	0	4	2	4
15	東藤 早次	0	0	0	0	1	* 15	瀧 俊凱	20	0	8	4	1
コーチ	横嶋 暢貴					0	コーチ	原田 裕作					0
Aコーチ	中川 利幸						Aコーチ	大石 康史					
合計		79	11	20	6	28	合計		96	6	29	20	14

主審: 香野 学
副審: 富田 洋平

得点経過



CTO	1・2P	3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	8:52	14:43	23:17	31:40	34:38	:	:	:
TeamB	:	:	29:12	:	:	:	:	:

〔戦評〕
両チームともマンツーマンでゲーム開始。札幌工業は#4、#5の3P中心に加点、飛龍も#4、#5のドライブインで応戦する。高さに勝り、リバウンドを支配する飛龍はゲームの主導権を握り、#10が3Pを決めるなど、25対16飛龍リードで第1P終了。
第2Pは飛龍が#14、#15にボールを集め、インサイドで得点をあげていく。一方、札幌工業も#4の速攻や#11の3Pで食い下がるも、#9、#10の3Pで突き放した飛龍が46対33で前半をリードして終了。
第3Pになってなんとか挽回したい札幌工業はオールコートマンツーマンでプレッシャーをかけていくが、なかなか点差が縮まらない。飛龍は#14、#15がゴール下を制し得点を伸ばしていく。札幌工業は#4のドライブインなどで食い下がるが、飛龍はディフェンスのプレッシャーを強め、3Pを決めさせない。速攻や3Pなど多彩な攻撃で飛龍が20点以上点差を広げていくが、札幌工業も#5の3Pで、なんとか15点差で第3Pを終わり、第4Pに繋げた。
第4Pになっても#14、#15のインサイドで得点を広げていく飛龍は、札幌工業のプレッシャーディフェンスを#5がドライブインで切り崩し96対79で飛龍が勝利した。終始リバウンドやインサイドを支配した飛龍が、持ち味を発揮したゲームであった。

戦評: 佐々木 潔 記録: 田辺高校